#### 事業者の取り組み例

#### 基本目標 1 持続可能な社会を実現するための地域づくり・人づくり

- ●NPO や活動団体との情報交換や交流を深め、活動を活性化させましょう。
- ●従業員に対して環境教育を実施しましょう。
- ●施設見学の受け入れなど、市民に環境教育・環境学習の機会を提供しましょう。

など

#### 基本目標 2 自然と共生するまち

- ●事業所や工場周辺の自然環境や生物の生息・生育環境に配慮しましょう。
- ●自然とふれあう機会や場の提供に努めましょう。
- ●地場産の食材を活用し、地産地消に取り組みましょう。

など

#### 基本目標3 快適な生活が営めるまち

- 悪臭の防止対策に努めましょう。
- 工場排水は適正に処理し、処理施設の維持管理に努めましょう。
- 所有地は適切に管理し、雑草や樹木が繁茂しないように努めましょう。

など

#### 基本目標 4 低炭素なまち・資源が循環するまち

- 各支援制度を活用し、太陽光発電設備等の再生可能エネルギーの導入に努めましょう。
- 機器更新や新規導入の場合は、エネルギー効率の良い製品を選びましょう。
- 事業所敷地及び建物の緑化に努めましょう。
- 製造・販売方法を見直し、食品ロスを削減しましょう。

など

#### 重点施策

「地域づくり」に関する施策を重点施策として位置付け、重点的に推進していきます。

#### 1 環境美化の推進

取り組み の方針

地域や NPO、活動団体が実施する環境美化活動や清掃活動を支援します。また、あらゆる 世代の市民や事業者の参加を促進し、環境美化に対する意識の向上を図ることで、ポイ捨て や不法投棄がなく、公園や花壇が整備された美しいまちを目指します。

# 2 安心・安全な生活環境の構築

**取り組み** 防災・減災に取り組む体制の構築や適正に管理されていない空家・空地対策に取り組むこと **の方針** で、住みやすいまちを目指します。

#### 3 地域資源と人材の活用

**取り組み** 地域資源の活用、市民・事業者等の自主的な地域づくり活動を促進することで、賑わいのあ **の方針** るまちを目指します。

8

【発行元】嘉麻市 環境課 環境衛生係

〒820-0292 嘉麻市岩崎 1180 番地 1

TEL: 0948-42-7428

FAX: 0948-42-7093

# 第2次嘉麻市環境基本計画

# ~豊かな自然と共生する遠賀川源流の心やすらぐまち~

2021 (令和3) 年3月







#### 計画策定の背景と目的

嘉麻市では、河川の水質汚濁、生物多様性の危機、ごみ問題、地球温暖化など環境に関する問題を解決し、 次世代によりよい環境を残すため、2011(平成23)年3月に「嘉麻市環境基本計画」を策定し、環境保全の取 り組みを進めてきました。

一方で、全国的に記録的な猛暑や集中豪雨をはじめとする異常気象が頻発し、地球温暖化による気候変動の 影響が身近なものになっています。その他にも「マイクロプラスチック問題\* | 等、新たな環境問題も顕在化し てきています。

著しく変化を見せる環境問題に対応するとともに、近年の本市を取り巻く情勢や地域特性に応じた取り組み をこれまで以上に総合的かつ計画的に進めるため、「第2次嘉麻市環境基本計画」(以下「本計画」という。)を 策定しました。

\*ポイ捨てされたプラスチック等が川や海を流れる間に小さくなり、海の生物に影響を与える問題。

# 計画の位置付け

本計画は、本市の環境に関する関連計画の最上位に位置付けられます。また、本計画の地球温暖化対策及び 循環型社会の構築に関する部分は「嘉麻市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)」として、「地球温暖化対策 の推進に関する法律」に規定される地方公共団体実行計画に位置付けます。

### 計画期間と目標年度

本計画の期間は、2021 (令和3) 年度からの10年間とし、目標年度は、2030 (令和12) 年度とします。ま た、2025(令和7)年度を中間見直し年度とし、本市を取り巻く環境や社会情勢の変化、科学技術の進展など を踏まえ、計画内容の見直しを行います。

#### 計画の推進体制

本市が目指す環境像の実現を最終目的として本計画の着実な推進を図るためには、市民・事業者・市がそれぞれの立場でお互いの役割を理解するとともに、自らできること、取り組むべきことを自覚して行動することが重要となります。

本計画の円滑な運用管理を行うため、庁内各部局の代表者で構成される「(仮称) 嘉麻市環境基本計画策定推 進委員会」を設置し、本計画の進行状況や見直すべき事項などについてのデータ把握と調整を行います。

また、事務局が中心となって計画の進行管理を行い、計画の推進に反映していきます。

一方、市民・事業者などに対しても情報提供を行うとともに、必要に応じて意見を募り、計画の推進における市民参加を図ります。

### 環境像を実現するための施策体系

本計画では、低炭素社会・循環型社会の構築に関する分野を「嘉麻市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)」 に位置付けます。その他の施策分野は、国及び県の環境基本計画を踏まえ以下のとおりとします。

また、各基本目標には、関連する SDGs のアイコンを示しています。SDGs は 2015(平成 27)年の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」にて記載された 2030(令和 12)年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。

基本目標				取り組み
基本目標 1 持続可能な社会を 実現するための	4 質の高い教育を みんなに	11 住み続けられる まちづくりを	<b>17</b> パートナーシップで 目標を達成しよう	1 自然資源を活かした地域づくりの推進
地域づくり・人づくり			8	2 環境を考えて行動する人づくりの推進
基本目標 2 自然と共生するまち	11 takkutata ta	14 海の豊かさを 守ろう	15 陸の豊かさも 守みう	1 生物多様性の保全
	17 パートナーシップで 目標を達成しよう			2 生物多様性の持続可能な利用
基本目標 3 快適な生活が営めるまち	<b>6</b> 安全な水とトイレ を世界中に	11 住み続けられる まちづくりを	14 海の豊かさを 守ろう	1 大気・音環境の保全
	<b>15</b> 陸の豊かさも 守ろう	17 パートナーシップで 目標を達成しよう		2 水環境の保全
	<b>\$</b> ***	<b>&amp;</b>		3 身近な住環境の保全
基本目標 4 低炭素なまち・ 資源が循環するまち (嘉麻市地球温暖化対策 実行計画 区域施策編)	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに	9 産業と技術革新の 基盤をつくろう	11 住み続けられる まちづくりを	1 再生可能エネルギーの利用促進
	-0-		A⊞⊞	2 市民・事業者の排出抑制活動の促進
	<b>12</b> つくる責任 つかう責任	13 気候変動に 具体的な対策を	17 パートナーシップで 目標を達成しよう	3 吸収源対策と適応策の推進
	CO		8	4 循環型社会の形成

2

#### 市民の取り組み例

#### 基本目標 1 持続可能な社会を実現するための地域づくり・人づくり

- ●NPO や活動団体との情報交換や交流を深め、活動を活性化させましょう。
- ●市民提案型事業補助金等を活用し、積極的に地域づくりへ参加しましょう。
- ●地域リーダーとして、地域で活動しましょう。
- ●市や民間団体などが開催する環境に関するイベントに参加しましょう。
- ●自然体験学習会や講演会などに参加しましょう。

など



#### 基本目標2 自然と共生するまち

- ●生態系に影響を及ぼす外来生物を野外へ遺棄・放逐・植栽しないようにしま しょう。
- ●犬や猫などのペットの残り餌を放置しないようにしましょう。
- ●環境保全活動や生物の保護活動に進んで参加しましょう。
- ●生物多様性が人々の生活と密接に関わっていることを認識しましょう。
- ●地場産の食材を意識して購入し、地産地消に取り組みましょう。

など

# 基本目標3 快適な生活が営めるまち

- 合併処理浄化槽を設置し、適切な維持管理に努めましょう。
- 家庭でできる生活排水対策を実践しましょう。
- ◆不法投棄をしないようにしましょう。
- 所有地は適切に管理し、雑草や樹木が繁茂しないように努めましょう。

など





#### 基本目標 4 低炭素なまち・資源が循環するまち

- 各支援制度を活用し、太陽光発電設備等の再生可能エネルギーの導入に努め ましょう。
- 家電製品の購入・買い替えの際は、省エネ型の製品を選択しましょう。
- 森林や身近な緑地の保全活動に積極的に参加しましょう。
- リサイクルできる商品や詰め替えできる商品を買いましょう。
- 食材の使い切りや食べ残しをしないなどの食品ロス削減に向けた取り組みを 実践しましょう。

など





7

### 基本目標4 低炭素なまち・資源が循環するまち(嘉麻市地球温暖化対策実行計画 区域施策編)

#### 1 再生可能エネルギーの利用促進

の方針

取り組み 太陽光発電等の再生可能エネルギーの導入を積極的に進めるとともに、事業所における再 生可能エネルギーの活用を促進します。

市の

●公共施設への再生可能エネルギーの導入

取り組み ●未利用資源の活用

指標・目標

■太陽光発電設備(10kW 未満)の導入容量

現状値 4,575kW R1 年度

目標値 5,625kW R12 年度

#### 2 市民・事業者の排出抑制活動の促進

取り組み の方針

事業所における省エネルギーの取り組みを支援するとともに、家庭における省エネルギー を促進します。

市の

●省エネに関する情報発信

取り組み●市の事務事業における省エネの推進

など

指標・目標

■省エネに取り組んでいる事業所の割合

現状値 目標値 55.9% 70% R1 年度 R12 年度

■市域から排出される温室効果ガス(CO<sub>2</sub>) 排出量

温室効果ガス排出量

現状値 4.823 t-CO2 R1 年度

■市の事務事業に伴い排出される

目標値 4,100 t-CO<sub>2</sub> R12 年度

#### 3 吸収源対策と適応策の推進

取り組み の方針

森林の適切な管理や都市の緑化推進により、二酸化炭素の吸収源を確保します。さらに、地 球温暖化の影響を回避・軽減するための適応策を実施します。

市の 取り組み ●吸収源対策の推進

現状値

47.3%

R1 年度

現状値

283,306 t-CO2

H29 年度

●防災減災体制の強化

など

日標値

263,658 t-CO<sub>2</sub>

R12 年度

指標・目標

■森林整備率

目標値 78.2% R12 年度 ■自主防災組織の組織率

現状値

15.05%

R2 年度

目標値 100% R12 年度

### 4 循環型社会の形成

の方針

取り組み ごみの減量、3R の推進、不法投棄の防止に取り組むとともに、「マイクロプラスチック問 題|や「食品ロス\*|などの新たな環境問題に取り組みます。

\*売れ残りや期限切れの食品、食べ残しなど、本来食べられるのに廃棄されている食品のこと。

市の 取り組み ●ごみの減量化・リサイクルの推進

●食品ロスの削減

など

6

指標・目標

■1人1日当たりのごみ総排出量

現状値 目標値 839g/人/日 755g/人/日 R1 年度 R12 年度

■リサイクル率

現状値 30.3% R1 年度

目標値 31.2% R12 年度

# 環境像の実現に向けた取り組み

#### 基本目標 1 持続可能な社会を実現するための地域づくり・人づくり

#### 1 自然資源を活かした地域づくりの推進

の方針

取り組み NPO や活動団体が行う地域づくりの活動を支援するとともに、地域の自然を活用した地域 づくりを進めます。

市の 取り組み ●NPO や活動団体の情報提供・連携等のネットワーク構築

●地域リーダーの育成推進

指標・目標

■市民提案型事業補助金を活用した団体数

現状値 24 団体 R1 年度



目標値 27 団体 R12 年度

■地域の環境に関する活動に参加している市民の割合

現状値 57.7% R1 年度



目標値 70% R12 年度



など





山田川クリーン作戦

# 2 環境を考えて行動する人づくりの推進

取り組み の方針

学校や地域で実施されている環境教育・環境学習を支援するとともに、地域の課題について 考え、解決に向けて行動する力を育むような人づくりを進めます。

市の

- ●人と自然が共存する環境教育の推進
- **取り組み** 「持続可能な開発のための教育(ESD\*) | の推進 など
  - \*環境問題をはじめとした世界中の問題解決に繋がる考え方や、行動を身に付けることを目的とした教育。

指標・目標

■市内の公民館施設で開催される講座数





小学校での環境学習



ふるさと探検隊 沢のぼり体験

■次世代を担う子どもへの環境教育に対する市民満足度

現状値 18.6% R1 年度

目標値 30% R12 年度

#### 基本目標 2 自然と共生するまち

### 1 生物多様性の保全

# 取り組み の方針

有害鳥獣\*や外来生物による生態系への影響の緩和、農林業の担い手の育成に取り組み、生 物の生息・生育環境を維持します。また、生物多様性への理解を促進するとともに、生物多 様性の保全に取り組む人材の育成に取り組みます。

\*田畑を荒らす野生の鳥や動物の総称。イノシシ・シカ・アライグマ等が当てはまる。近年は、これらの動物の 生息域が人間社会の近くにまで広がっており、人間に対して危害を加えるケースが出てきている。

# 市の 取り組み

- ●生物の生息・生育環境の保全
- ●生物多様性の理解促進

など

# 指標・目標

■シカによる被害金額

目標値 現状値 2,927 千円 2,500 千円 R1 年度 R12 年度



■耕作放棄地率

現状値 0.9% R1 年度

目標値 0% R12 年度

■生物多様性の市民認知度

現状値 13.8% R1 年度



目標値 25% R12 年度



古処山ツゲの原始林

# 2 生物多様性の持続可能な利用

取り組み の方針

生物多様性を基盤とする生態系に支えられた、農地や森林がもつ多面的機能に対する市民・ 事業者の理解を深めるとともに、生物多様性の持続可能な利用を推進します。

# 市の 取り組み

●農山村地域の多面的機能の理解促進

●地場産食材の利用推進

など

指標・目標

■自然とのふれあいの場の確保に対する市民満足度

現状値 41.1% R1 年度







■学校給食における地場産食材の利用率

現状値 31.56% R1 年度



目標値 30%以上 R12 年度

馬見山キャンプ村

#### 基本目標 3 快適な生活が営めるまち

#### 1 大気・音環境の保全

取り組み の方針

大気環境及び騒音・振動の状況把握に努めるとともに、発生源対策や道路交通対策により、 良好な大気・音環境を確保します。

\* 暫定値

市の 取り組み

- ●利便性の高い交通環境の構築
- ●悪臭や騒音・振動の発生源対策 など

指標・目標



■空気のさわやかさに対する市民満足度

現状値 57.9% R1 年度



■静けさに対する市民満足度



目標値 80% R12 年度



嘉麻市バス

#### 2 水環境の保全

取り組み の方針

|水環境の現状把握に努めるとともに、生活排水・工場排水の適正処理や森林、水田の保全を 推進することで良好な水環境の維持に努めます。

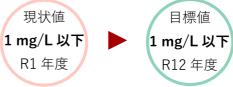
市の

●河川の水質保全

取り組み ●森林(もり)づくり基本計画の推進

など

■遠賀川における BOD\*測定値 指標・目標



\*BOD (生物化学的酸素要求量):水中有機物を好気性 バクテリアが酸化分解するのに要する酸素量であり、 代表的な河川の水質指標として用いられている。値が 高いほど、汚濁度が高いことを示す。

■汚水処理人口普及率

現状値 46.3% R1 年度

目標値 73% R12年度 ■荒廃森林整備率

現状値 92% R1 年度

目標値 95.2% R12 年度

#### 3 身近な住環境の保全

の方針

取り組み 快適な住環境を保全するため、市民・事業者による周辺環境や公園等の環境美化活動を促進 するとともに、空家・空地問題への対策や情報発信に努めます。

市の

●環境美化意識の高揚

取り組み ●空家 (老朽危険家屋) 対策

など

指標・目標

■空き家バンク登録件数

現状値

■公園や緑地整備の取り組みに対する市民満足度

現状値 32.0% H27 年度

日標値 70% R12 年度

10 件 100件 R12 年度 R2 年度

目標値